

枚方市NPO活動応援基金 補助事業報告レポート



皆さまに感謝を込めて、ご支援いただいた
8法人の取り組みをご紹介します！
補助総額 112万9千円

皆さまからいただいたご寄附を活用し、市内のNPO法人へ補助金を交付しました！

身近にある自然豊かな里山の環境を整える

特定非営利活動法人森林ボランティア竹取物語の会

枚方の里山の保全・再生・利用を通じ、自然との共生・環境保全を図る事業

事業内容

「にほんの里百選」にも登録されている穂谷地域の里山で課題となっているものが、周囲の森林の手入れです。森林保全活動として、竹やヒノキなどの間伐を行うとともに、間伐で発生したものを使って竹細工などのクラフトを行いました。山田池公園で作成した竹炭を奥山田川の水質浄化に使用するなど、里山資源の活用の取り組みも行いました。自然環境に関心を持つ人々に里山保全活動を体験してもらう「1日体験会」を随時開催し、里山保全活動の担い手を増やす取り組みも行いました。

対象者

自然環境の保全に興味のある枚方市民など

実施日時・場所

毎週日曜・水曜日（雨天中止）

活動拠点は、野外活動センターや穂谷地域、山田池公園

新型コロナの影響

緊急事態宣言の発出に伴う野外活動センターの閉鎖や感染拡大防止を理由としたイベントの中止があり、外部団体との交流事業の中止や規模縮小を余儀なくされました。



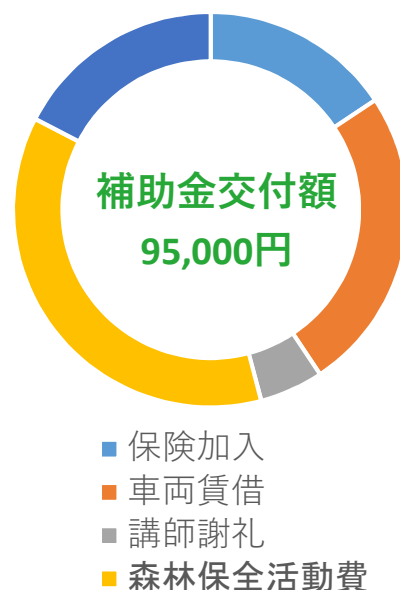
団体登録のきっかけ

イオン環境活動助成金やあいおいニッセイ同和損保寄附金などの民間助成金と会費収入をもとに活動を行っていましたが、収益方法を拡大し、事業の経営安定を図るために本基金へ申請を行いました。

事業の成果

補助金を使って、ボランティア保険への加入や保全活動・クラフト活動の消耗品や材料の購入ができたことにより、穂谷地域の森林保全活動が実施できました。また、「1日体験会」の取り組みの結果、里山保全活動への継続的な参加を希望する会員が19名増加しました。

補助金の使い道



今後の取り組み

別の補助金を活用し、森林保全活動を継続していきたいと考えています。枚方市スポーツ協会と協力し、里山活動「一日体験会」を無料で行うなど、さまざまな団体と交流し、森林保全活動を推進していきます。

皆さまのご寄付により、 令和3年度の活動が実施できました 引き続き法人へのご支援やご協力を よろしくお願いいたします

活動紹介

平成14（2002）年に任意団体として活動を開始。
平成18（2006）年に法人格を取得。

主な活動場所は、
枚方市野外活動センター
山田池公園・穂谷地域など。

多様な生物が生息し、食料や木材など自然資源の供給があり、良好な景観や文化の伝承の観点からも重要な“里山”の再生・利用の推進を目的にさまざまな活動を実施。

- 1 竹やヒノキの間伐などの里山保全活動
- 2 里山資源の活用（竹紙・竹炭・竹酢液・間伐材など）
- 3 一般市民や児童を対象とした竹細工や茶摘みなどの体験・指導 など



法人へのお問合せ先

所在地 〒573-0091 大阪府枚方市菊丘町31番3号
代表者 小出 哲男
電話番号 080-3862-1778
ホームページ [https:// taketorinokai.com/](https://taketorinokai.com/)



“もったいない”を“ありがとう”に

特定非営利活動法人子ども食堂ファンクラブ

フードドライブ（保管）事業

事業内容

“フードドライブ”とは、家庭などで使いきれない未使用の食品を持ち寄り、地域の福祉団体や子ども食堂などに寄贈する活動です。子育て世帯の子ども食堂の利用に寄与することを目的として、市民から物資を受け取り、市内の子ども食堂等へその物資を配布する活動を行いました。会議を開催し、配布計画や分配方法などを検討しました。喫茶店のスペースを借用し、冷蔵庫を設置して、受け取った物資を保管する場所として活用しました。

対象者

物資の預かり：食品の提供を希望する市民

物資の配布：市内の子ども食堂や福祉団体、施設

実施日時・場所

食材・物資の保管や受け取り・配布：随時

分配方法などの会議：

活動拠点は、枚方市民会館など

新型コロナの影響

コロナ禍により支援が必要な世帯が増加したと推測されることから、子ども食堂の支援について、SNS等を通じた周知活動を行いました。



団体登録のきっかけ

子ども食堂や子ども食堂を支援する活動を広く周知し、法人の支援者を募るために、基金へ登録を行いました。

事業の成果

食材を保管するスペースの賃借料や物資を配布するボランティアへの謝金等に補助金を使用しました。本事業の実施を検討するうえで、食材を保管する場所の確保が課題であったため、補助金交付により課題が解決できました。

また、市内の子ども食堂や福祉団体・施設（延べ200団体）へ食材を配布し、配布先団体の活動を通じて、市内の子育て世帯への支援が実施できました。

補助金の使い道



- 配送謝礼
- スペース賃借料
- 会議場所使用料
- 広報費

今後の取り組み

効果的な事業の実施方法について法人内で検討し、引き続き、市内の子ども食堂の設立や運営の支援の推進のため、積極的に活動に取り組んでいきます。

皆さまのご寄付により、 令和3年度の活動が実施できました 引き続き法人へのご支援やご協力を よろしくお願いいたします

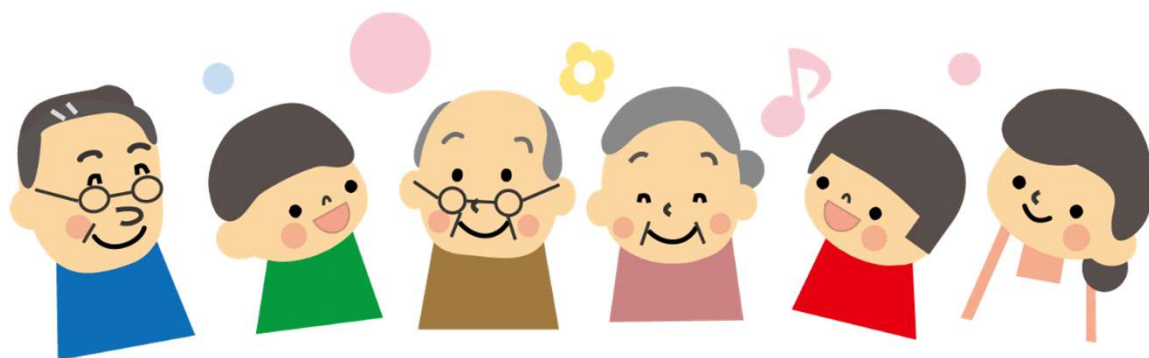
活動紹介

平成28（2016）年に法人格を取得し活動を開始。

主な活動場所は、枚方市内全域。

子育て世帯にとって“地域でのつながりやあたたかさを実感する居場所”である子ども食堂を支援することも目的として、さまざまな活動を実施。

- 1 子ども食堂の立ち上げや食材のシェアなどの運営支援活動
- 2 子ども食堂同士のネットワークの構築活動
- 3 子ども食堂の普及・啓発活動 など



法人へのお問合せ先

所在地 〒573-1118 枚方市楠葉並木2丁目28-4

代表者 大橋智洋

電話番号 072-845-6818（FAX兼用）

電子メール npokodomoshokudo@gmail.com



地域のだれもがつながり安心できる居場所づくり

特定非営利活動法人ちいさいほいくえんみんなの里

認可外保育施設事業

事業内容

保育を必要とする世帯の負担を和らげるため、月極保育や一時保育、日曜・祝日・夜間保育、学童保育の事業を実施しました。また、さまざまな団体と協力し、子育て世帯が参加・交流できる親子ひろば事業を行いました。

対象者

未就学児から小学生の児童を育てる世帯

実施日時・場所

枚方市楠葉並木にある保育施設で、年間261日（土日含む）保育などを実施。

| | 保育時間 | |
|-------|------|------------|
| 月極 | 月～金 | 7：00～19：00 |
| 一時 | 月～土 | 7：00～19：00 |
| 日曜・祝日 | 日・祝 | 9：00～17：00 |
| 夜間 | | 19：00～7：00 |
| 学童保育 | 月～金 | 9：00～17：00 |
| | 三季休業 | 7：00～19：00 |



新型コロナの影響

感染防止対策の研修を実施するなど、保護者や児童が安心できる取り組みを行いました。

団体登録のきっかけ

充実した保育環境の整備の資金調達を行うことや法人の活動を広く周知し、支援者を募ることを目的として、基金へ登録を行いました。

事業の成果

保育従事者の人件費に補助金を充てることで、安定した保育環境の整備の一助となりました。また、保育環境の整備により、地域の子育て世帯の急な保育ニーズにも対応することができました。

今後の取り組み

今後も地域での居場所づくりを目的とした保育事業に取り組んでいきます。

補助金の使い道



皆さまのご寄付により、 令和3年度の活動が実施できました 引き続き法人へのご支援やご協力を よろしくお願いいたします

活動紹介

平成24（2012）年に任意団体として活動を開始。
令和元（2019）年に法人格を取得。

主な活動場所は、保育施設である“ちいさいほいくえんみんなの里”。

誰もが互いに認め合い愛されひとりひとりと丁寧につながり安心できる居場所づくりを目的として、さまざまな活動を実施。

- 1 子育て世帯の負担軽減のための保育活動
- 2 子どもが放課後に地域で過ごせる子ども食堂の運営
- 3 子育てに関する教育・セミナー活動 など



法人へのお問合せ先

| | |
|--------|---|
| 所在地 | 〒573-1118 枚方市楠葉並木2丁目28-4 |
| 代表者 | 梅原 知子 |
| 電話番号 | 072-845-6818（FAX兼用） |
| 電子メール | info@minsato.com |
| ホームページ | https://minsato.com/ |



ありのままにいきられるための親子の場づくり

特定非営利活動法人ハーモニークラブ

えほんライブ事業

事業内容

えほんライブは、プロジェクターで絵本を映し出し、歌唱や朗読などを行うことで、絵本の世界と音楽の世界が一体となった五感を通して癒しをもたらす体験型ライブです。親子広場や子育て支援イベントに参加し、約70人を対象に上演しました。

保育オンラインサロンでは、えほんライブのコンテンツ（挿入歌や手遊び歌）を保育関係者などへレクチャーし、保育にかかわる意見交換を行い、専門家や地域の人たちと交流を行いました。

対象者

市内の子育て世帯や保育士などの教育関係者

実施日時・場所

えほんライブ上演：4月3日（土）、11月1日（月）

保育オンラインサロン：月1回程度（zoom・Clubhouse）

活動拠点は、枚方市岡本町周辺

新型コロナの影響

コロナ禍では、保育所や幼稚園でのえほんライブ上演が難しく、協力してもらう団体や会場の確保が課題となりました。

団体登録のきっかけ

寄附者を募ることを目的とした無償上演の機会を増やすにあたり、活動資金が不足していたため、本基金に申請しました。

事業の成果

えほんライブ無償上演（2回）や保育オンラインサロンの人件費に補助金を活用しました。

基金登録法人ということで、社会的な信頼を得ることができ、活動に関わる新規会員が増加、出張公演の依頼も増え始めました。

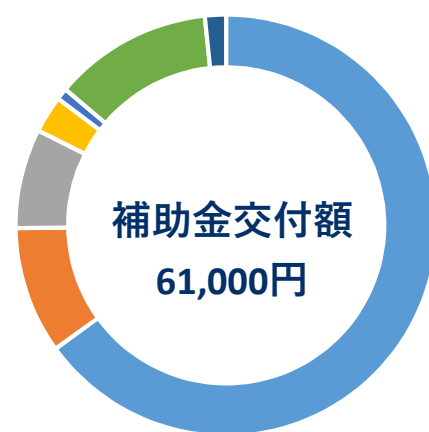
また、保育オンラインサロンでは、子育てや保育現場のニーズや課題を聞き取り、参加者で歌詞のアイデアを出し合って新曲が生まれ、保育や子育てに役立つと好評をいただきました。

今後の取り組み

令和4年度もプログラム内容を発展させ、「えほんライブを中心とした体験型の自己肯定感育成事業」を補助金を活用し、実施します。対象が乳幼児であるため、えほんライブとともに体験型活動（音楽活動や工作、体を使った簡単な遊び等）を組みわせて、自己肯定感を育む工夫をして取り組みます。



補助金の使い道



- 人件費
- 旅費交通費
- 通信運搬費
- 印刷製本費
- 消耗品費
- 謝礼

皆さまのご寄付により、 令和3年度の活動が実施できました 引き続き法人へのご支援やご協力を よろしくお願いいたします

活動紹介

平成31（2019）年に法人格を取得し活動を開始。

主な活動場所は、市内の保育・教育施設や地域の子どもイベント等での出張公演。

法人オリジナルの作品であるえほんライブや保育サロンを通して、ありのままに生きられるための場づくりを展開し、新たな保育の担い手の応援や保育に役立つオリジナル作品の開発などの活動を行っている。

▼ YouTubeアカウント ▼

- 1 えほんライブの上演・パフォーマー養成活動
- 2 親子の場づくり活動
- 3 保育に役立つオリジナル作品の開発活動 など



法人へのお問合せ先

所在地 〒573-0031 枚方市岡本町7-1ビル5階
代表者 井上 千晴
電話番号 080-4393-8255
電子メール info@harmony-club.jp
ホームページ <https://harmony-club.jp>



出会い・ふれあい・つながるファミリースクール

特定非営利活動法人ふれあいネットひらかた

ファミリースクール「シロップ」事業

～保育付き料理教室&オンラインファミリー教室&おしゃべり夜カフェ～

事業内容

「シロップ」では、家族の不安や孤立を解消し“心地よい家庭”を家族が協力して築きあげる方法を学ぶことのできる3つの講座を一体的に実施しました。SNSなどを通じて参加者の募集を行い、保育付き料理教室では食育を学び、オンラインファミリー教室では子育てを学ぶことができるようにカリキュラムを作成しました。おしゃべり夜カフェでは参加者がリラックスしながらコミュニケーションができるものです。

対象者

子育て世帯 ※ 市外居住者も参加可能

実施日時・場所

保育付き料理教室：9月～3月の間 月1回

オンラインファミリー教室：5月～8月の間 月1回

おしゃべり夜カフェ：5月～3月の間 月1回

活動拠点は、牧野生涯学習市民センター、法人事務所

新型コロナの影響

コロナ禍では、保育付き料理教室の開催場所の確保が課題となりました。また、緊急事態宣言発出等の影響もあり、一部の講座を中止しました。

団体登録のきっかけ

事業実施にあたり、参加者の負担軽減や法人の社会的信用の向上を目的として、本基金に申請しました。

事業の成果

人件費や開催場所の賃借料に補助金を活用することで、法人の課題であった参加者の負担軽減が達成できました。

講座の参加者から「料理のレパートリーが増え、幼児食を作ることができるようになり、家族が喜んでくれた」という声をいただき、本事業を実施することで、市民の食育につながりました。

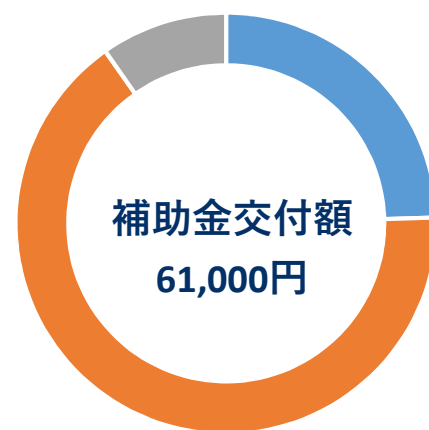
また、コミュニケーション不足の解消になりました。

今後の取り組み

新型コロナウイルスの影響下においても食育にかかわる事業が実施できるように様々な工夫を重ねて、法人の運営を行います。



補助金の使い道



■ 料理講師料 ■ 人件費 ■ 賃借料

皆さまのご寄付により、 令和3年度の活動が実施できました 引き続き法人へのご支援やご協力を よろしくお願いいたします

活動紹介

平成17（2005）年に法人格を取得し活動を開始。

主な活動場所は、牧野生涯学習市民センターなど。

「出会い・ふれあい・つながる」をテーマに食生活の重要性を地域住民とともに考え、地域社会における人々の居場所づくりを通して、「食育・学習・健康」を3本の柱とする子育て支援・介護予防などのさまざまな活動を実施。

- 1 食育支援事業
- 2 学習支援事業
- 3 健康支援事業



法人へのお問合せ先

所在地 〒573-0157 枚方市藤阪元町3丁目36-32
代表者 林 明子
電話番号 072-867-8852
電子メール hayashi1655@shokuiku-station.com
ホームページ <http://www.shokuiku-station.com/> 

要介護高齢者のなじみの場所への外出を支援

特定非営利活動法人関西生活文化研究会おでかけ

要介護高齢者の余暇活動のための外出ニーズに応える事業

事業内容

介護が必要な方に対して、公的福祉サービスの対象とならない“余暇活動”の外出を支援する事業です。事前に訪問先などの調査を行ったうえで、福祉有償運送と介護職員初任者研修等の有資格者が車両を用いて外出支援を行いました。

利用者の募集は、病院や福祉施設、ケアマネージャーに当事業のパンフレットを送付し周知しました。

対象者

市内の外出にかかる自費負担が困難な要介護高齢者
(要介護認定にかかわらず介助が必要な人)

実施日時・場所

毎週木曜日の13:30~17:30 ※要事前予約
活動拠点は、市内北部およびその周辺地域

新型コロナの影響

感染症拡大の影響により、外出を控える利用者が多いことが課題となりました。

利用者が安心して利用できるように、枚方信用金庫が認定している安心宣言ステッカーを取得し、枚方市新型コロナウイルス感染症対策事業所支援実行委員会より、プレミアム付商品券の取扱認定も受けました。

団体登録のきっかけ

福祉移送サービスに必要な活動資金が不足しており、寄附を募ってはいるものの集まらない状況が続いていました。

ふるさと寄附金を活用した補助金があることを知り、寄附者をより募りやすいと考えて、申請を行いました。

事業の成果

基金登録法人であり、公益的な活動であることを多くの方に周知することができ、福祉関係者や寄附を検討している方から社会的な信頼を得ることができました。従事者の人件費に補助金を充てて実施することができたため、利用者が諦めていた「なじみの場所」へ再び通ってもらうことが可能となりました。

また、活動体験の応募があり、その方がサポーターとして参加することになったため、課題となっていた従事者不足が軽減されました。

今後の取り組み

令和4年度も本補助金の活用し、新型コロナの影響で外出を控え事業を利用できなかった方にも、外出を諦めず地域における自分の居場所へ参加できる環境づくりに取り組みたいと考えています。

補助金の使い道



皆さまのご寄付により、 令和3年度の活動が実施できました 引き続き法人へのご支援やご協力を よろしくお願いいたします

活動紹介

平成17（2005）年に法人格を取得。

主な活動場所は、市内北部およびその周辺地域。

介護事業所等と協力し、高齢者や障害者の外出及び社会参加の促進による快適な日常生活の実現を目的にさまざまな活動を実施。

- 1 福祉有償運送事業
- 2 訪問介護事業



法人へのお問合せ先

| | |
|--------|---|
| 所在地 | 〒573-1111 枚方市楠葉朝日1丁目21番8-202号 |
| 代表者 | 大津 周子 |
| 電話番号 | 072-809-4416 |
| FAX番号 | 072-809-2204 |
| 電子メール | odekake@camel.plala.or.jp |
| ホームページ | https://sites.google.com/view/npoodekake/ |



子どもも大人も“ほっ”とできる放課後の居場所づくり

特定非営利活動法人えほんのお部屋ひまわり畑

放課後の子どもの居場所「放課後クラブあおむし」作り事業

事業内容

放課後の安心安全な居場所として放課後クラブを開室しました。年間234日開室し、延べ人数605人の小学生が利用しました。利用する児童は、宿題やアナログゲーム、友達と遊ぶなど様々な過ごし方ができました。児童の居場所づくりとして、英語の学習やウクレレ教室、工作などが体験できるよう工夫し、夏休みには児童自身で木材を加工し、コリントゲームを作成するなど創造性や自主性を養う行事を開催しました。

対象者

市内の小学1年生から6年生までの児童
(校区外の児童も利用可能)

実施日時・場所

毎週月～金曜日の15時から17時30分まで。
活動拠点は、香陽小学校区にある法人の所有施設

新型コロナの影響

緊急事態宣言の発出に伴い、イベントを中止しました。
コロナ禍では、事前予約制で受け入れを行いました。



団体登録のきっかけ

法人の活動資金が不足しており、所有施設を活用した放課後の子どもの居場所づくりを推進していくことが難しかったため、NPO法人化に伴い登録しました。

事業の成果

従事するボランティアへの謝金や工作などに使用する消耗品へ補助金を活用しました。小学校1～6年生まで参加した工作では、上級生が下級生を補助しながら取り組むなど、学校生活では生まれにくい“縦”のつながりも見られました。児童自身で考えて段ボールで基地や人生ゲームを作るなど、放課後の居場所づくりが達成できました。また、基金に団体登録をしていることで、地域の方への広報がしやすくなり、団体を指定した寄附もあり、活動の基礎をつくることができました。

今後の取り組み

令和4年度も同一事業で本補助金の活用を予定しています。小学校の校庭開放も開始され、児童の放課後の環境が変化していますが、児童の安心できる放課後の居場所づくりに引き続き取り組んでいきたいと考えています。

補助金の使い道



- ボランティア謝金
- 印刷製本費
- 消耗品費
- 講師謝金

皆さまのご寄付により、 令和3年度の活動が実施できました 引き続き法人へのご支援やご協力を よろしくお願いいたします

活動紹介

平成18（2006）年に任意団体として活動を開始。
平成30（2018）年に法人格を取得。

主な活動場所は、枚方市香里ヶ丘にある法人施設など。

子どもと保護者に寄り添い、子育て中にほっとできる場所を提供することを
目的にさまざまな活動を実施。

- 1 親子が集う広場事業
- 2 子育て居場所づくり事業
- 3 一時預かり保育事業 など



法人へのお問合せ先

所在地 〒573-0084 枚方市香里ヶ丘12丁目6-28

代表者 中谷 章代

電話番号 090-6739-7064

FAX番号 072-395-3081

電子メール heartnetkids@yahoo.co.jp

ホームページ <https://www.himawaribatake0303.com>



白杖をクラブに持ち替えてスポーツを楽しむ場づくり

特定非営利活動法人大阪視覚障害ゴルフアース協会

練習ラウンド 及び ブラインドゴルファー競技大会

事業内容

ブラインドゴルフは、晴眼者（パートナー）が視覚障害を持つゴルファーの目の代わりとなって、プレーを行う競技です。パートナーが伝えるボールの位置や打つ方向、残り距離、スタンスの状況、障害物の場所などの情報に基づいて、ゴルファーはプレーを実施しました。ゴルファーとパートナーが信頼関係を築き、障害に対する正しい知識を広めるとともに、視覚障害者の健康増進や生活の質の向上を目的として、練習と大会を主催しました。

対象者

枚方市内のゴルフ場に参加可能な
視覚障害のあるゴルファー及びプレーパートナー

実施日時・場所

練習ラウンド： 4月15日、11月17日、3月16日
競技大会：10月15日
活動拠点は、くずはゴルフリンクス

新型コロナの影響

緊急事態宣言の発出に伴い、予定していた練習や大会の開催を変更・縮小しました。

団体登録のきっかけ

事業実施に伴う活動資金が不足している中で、本基金制度を知り、資金調達を兼ねて登録しました。

事業の成果

ゴルフ場利用料やパートナーへの謝礼に補助金を活用することで、延べ103人（視覚障害者46人）が練習に参加することができました。競技大会では、46人（視覚障害者20人）が参加しました。

本事業を実施することで、視覚障害者の自立や社会参加を図ることができ、健康増進や生活の質の向上に寄与することができました。

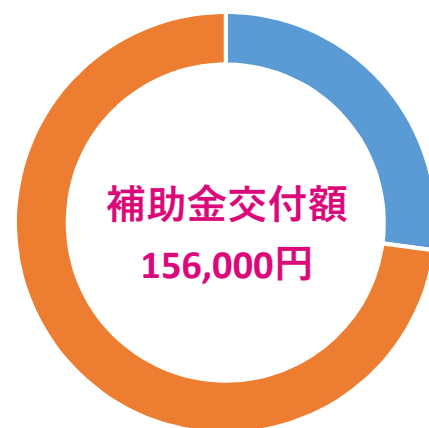
基金に団体登録をしていることで、社会的な信頼を獲得し、会場確保などにおいて積極的な協力を得ることができました。

今後の取り組み

今後も視覚障害者の自立や社会参加を図るとともに、健康増進や生活の質の向上に寄与することを目的としたブラインドゴルフ事業に取り組んでいきます。



補助金の使い道



■ ボランティア謝金 ■ 会場利用料

皆さまのご寄付により、 令和3年度の活動が実施できました 引き続き法人へのご支援やご協力を よろしくお願いいたします

活動紹介

平成17（2004）年に法人格を取得し、活動を開始。

主な活動場所は、くずはゴルフリンクス など。

視覚障害者とボランティアパートナーが二人三脚でブラインドゴルフに挑戦し、相互の友情と信頼を深めるとともに視覚障害に対する正しい理解を社会に広め、視覚障害者の健康増進や体力維持による生活の質の向上を目的として、さまざまな活動を実施。

- 1 練習ラウンド
- 2 ブラインドゴルファー競技大会
- 3 練習会 など



法人へのお問合せ先

| | |
|--------|---|
| 所在地 | 〒573-1192 枚方市西禁野2丁目28番16号 |
| 代表者 | 橋本 富雄 |
| 電話番号 | 072-849-3230（FAX兼用） |
| 電子メール | tjkt28271@maia.eonet.ne.jp |
| ホームページ | https://obg9zh15tk.wixsite.com/mysite/ |



令和3年度は、**27件 63万9,293円**のご寄附をいただきました

枚方市NPO活動応援基金は、引き続き寄附を募集しています！

令和4年度支援対象団体（全11法人）

- 1 スノック
- 2 大阪メチャハッピー祭in枚方実行委員会
- 3 ひらかた生物飼育部LABO
- 4 陽だまりの会
- 5 コーチズ大阪
- 6 枚方市手話通訳協会
- 7 ひまわり七宝
- 8 関西生活文化研究会おでかけ
- 9 えほんのお部屋ひまわり畑
- 10 ハーモニクラブ
- 11 エンパワセツルメント



ふるさと納税専門ポータルサイト等から
寄附のお申込みがいただけます。



枚方市NPO活動応援基金

でご検索ください



本基金の詳細は
こちら



ふるさと納税の詳細は
こちら

